2015・北海道ぶらりドライブ12「第5話」

5日目・2015.7.9(木)・快晴

ニッカウヰスキー工場見学 → 天狗山ロープウェイ → 小樽運河散策

天然温泉・灯の湯・ドーミーイン premium 小樽で朝を迎えました。
今朝も嬉しい快晴の朝・ホテルレストランでの朝食はヴィッフェ・スタイルです。

なんと !! **イクラ・エビ・ツブ貝の壺焼き**や、**イカの刺身・塩辛類**などが並んでいます。
北海道らしい食材のどれもが美味しく、ご飯がすすみました。

大満足の朝食を済ませて、小樽の観光に飛び出します。
今日は始めに・**余市のニッカウィスキー工場の見学**からです。

小樽駅から余市までは、およそ30分ほどと近い距離にあります。

朝の空気も澄んでいて、海岸線の綺麗な景色を楽しみながら余市駅に到着です。

余市駅前広場からは、ニッカウィスキー工場は目の前でした。

早朝から沢山の人が訪れています。

重厚な石造りの正門をくぐると、こんな景色が広がっていました。

この建物は**蒸溜棟**ですね。

工場の敷地は、奥へ奥へと広がりを見せていて、痛めているこの足で何処まで歩けるだろうかと心配したものです。　係員に聞くと、お目当ての**土産品コーナーは、工場敷地の一番奥にある**と言うではありませんか。

幸いに私たちには時間の制限がない … ゆっくり歩くことにしたんです。

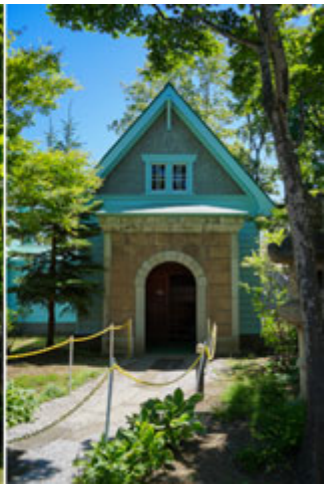
下の写真は**蒸溜棟の内部**です。

ニッカウヰスキーの創業者であり、日本で初めて国産ウィスキーを作った竹鶴政孝さんとその妻・リタさんの姿を、NHKの朝ドラの場面から思い出しながらの見学です。

下の写真の

右は　旧事務所です。

下の写真は、**リタ夫人と暮らした旧竹鶴邸**で、右側の写真はその玄関で、リタ夫人の実家と同じ造りになっているそうです。



ゆっくりゆっくりと、途中何度か椅子に腰を降ろしたりしながら、一番奥の**ニッカ会館**に到着で

した。

NIKKA WHISKY

NIKKA WHISKY

大勢の客が買物をしています。

シングルモルト余市
ノーエイジ
¥667
¥720
余市

SUPER
NIKKA WHISKY

ここから発送をしてくれるとばかり思っていましたので、つい欲張って、重たいボトルを買い求めてしまいました。　足は痛いし …. 土産は重いし、やれやれ …. 。

がっくりと肩を落としながら**ニッカ会館に入りますと、その入り口に車椅子が数台並べてありました。**　そして、**ご自由にご利用ください** …. と書いてあります。

助かりました。

いらっしゃいませ
Welcome
MENU
CAFE
RESTAURANT
TARU
樽
CAFE
RESTAURANT
TARU
樽
CAFE
RESTAURANT
TARU
樽
OPEN CLOSE

家内が車椅子を押してくれて、帰り道は実に楽に工場の出口まで戻ることが出来ました。
感謝！感謝！でした。

上の写真はニッカウイスキー工場の正門から余市駅を観たものです。
こうして余市を後にしました。

小樽運河へ戻る途中、ふと思い出して**天狗山ロープウェイ**に向かうことにしたんです。
余市からは**環状線の道路**を走り、スムースにロープウェイ乗り場に着きました。
ゴンドラに乗り込み、**天狗山の頂上駅**に降り立ちました。

小樽の市内

からは車で15分ほどのところです。

ここから観る夜景は、北海道三大夜景と言われているそうです。

ここからは小樽の町がパノラマで絶好のビューポイントです。

天狗山は北海道におけるスキー発祥の地だそうです。

山麓から山頂までは、約4分でつなぐ30人乗りのロープウェイが運行されています。

こうして天狗山を降りました。

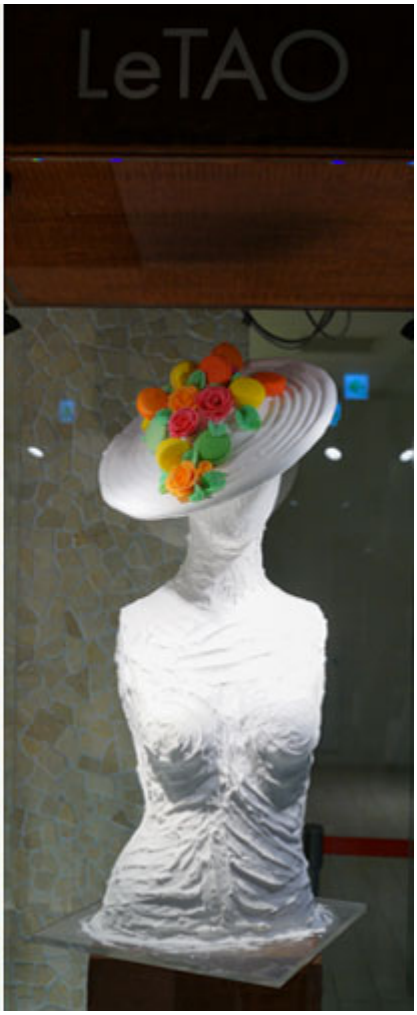
小樽運河に戻って、これからゆっくり運河沿いの街の散策です。

ふじ雑

ちょっとひと休み!
北の漁場
北の漁場
小樽海鮮問屋
白い恋人

おたる硝子工房

PATHOS Le TAO と言う店に入ります … ここで暫く足休めのお茶タイムです。


LeTAO

小樽運河のこの街にガラス店が多いわけ？…. ご存知ですか。
先日に乗った人力車のイケメンの若者から教わったので書いておきます。

明治から昭和初期にかけて、**にしん漁をはじめ豊漁の時代の小樽では、漁に使う網の浮き玉の生産をしていました。**　ところが、その**漁は時代と共に衰退し、浮き玉の生産も激減**してゆきます。さらに**浮き玉**は**プラスチック製**や**ゴム製**へと改良され、**ガラス玉の需要がなくなります。**
そこで、**石油ランプを作り、それがヒットします。**
ところが、その後**ランプ**も**電球に取って代わり、売り上げは激減します。**
こうして、生活必需品・実用品としてのガラス製品の時代は終わりとなります。
そんな中・**長く培ってきたガラス加工技術を生かして、今日のような個性的なガラス工芸品を製作するようになったと言うのです。**

六花亭
北菓楼

六花亭
北菓楼

北一硝子 アウトレット
地酒

南小樽駅
Minamiotaru Sta.
国道5号
ROUTE 5

小樽オルゴール堂
MUSEUM

午後4時頃・

足の疲労度は限界に達していました。

これで小樽運河の散策は終わりにしてホテルへ向かいます。

小樽駅の構内のコンビニで家内が、お弁当とお酒を買い求めてきてくれました。

ホテルの部屋で、買い求めてきたお弁当をひらき、ほっとする夕餉です。

食後はバタンQでした。

天然温泉・灯の湯・ドーミーイン premium 小樽に2連泊です。

ご覧いただきましてありがとうございました。

…. ではまた次回でお会いしましょう。